

教育目標 : ○みずから学び 創造する	○心豊かに 互いを尊重する	○健康で たくましく生きる
めざす学校像 : ○学ぶ喜びが実感できる学校	○ふれあう喜びがあふれる学校	○夢を育む学校
めざす生徒像 : ○瞳輝く生徒	○深く考える生徒	○希望に満ちた未来を創る生徒
めざす教師像 : ○教育に対する熱意と使命感に富む教師	○一人一人の良さを引き出せる教師	○常に学び続ける教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標	努力指標	成果指標	成果指標	分析コメント	改善策
				(中間)	(最終)	(中間)	(最終)		
確かな学力	基礎的な知識・技能を確実に身に付け、それらを活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む	生徒の主体的な学習を通して、学ぶ楽しさ、わかる喜びが実感できる授業を工夫する	自分の考えを発表したり、友だちと話し合う活動を単元の指導計画に位置付ける。	3 88%	4 91.3%	4 93.8%	4 86.5%	努力指標は、中間報告の88%に対し、最終報告では91.3%と高めることができた。1学期から継続的にやってきたことが、生徒たちにも浸透し、主体的に話し合い活動に参加したということが読み取れる。一方で、成果指標は中間報告の93.8%に対し、最終報告では86.5%とやや下がってしまった。教員側の意識を高くもたせ続けることが必要である。	・何について、どのように話し合うかを明確にする。 ・単元の導入、途中、まとめなど、話し合う場面を工夫する。 ・話し合うグループ構成を工夫し、緊張感をもたせる。 ・実践例を残していき、各教科・各学年で生かせるようにする。
			年間を通してユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を実施し、「わかる授業」「できる授業」を実現する	3 84%	4 91.3%	4 88.6%	3 89.2%	努力指標は、中間報告の84%に対し、最終報告では91.3%と高めることができた。また、成果指標も中間報告の88.6%に対し、最終報告では89.2%と高めることができた。しかし、成果指標が下がってしまっているのは最終報告において、1つの教科が80%以上の評価を得ることができなかった点にある。	・引き続き1時間毎の「ねらい」の提示と「振り返り」の時間の確保を実践していく。 ・教科間での指導方法の共有や、他教科との情報交換を行う。 ・発問の工夫、板書の工夫、授業展開の工夫等をさまざまな視点に立って行う。 ・市教研など、外部での研修で情報を共有する。
豊かな人間性	多くのひととのふれあいを通し、自らを律し、他を思いやる心や感動する心を育む	「特別の教科 道徳」の時間を核に、教育活動全体を通して、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める	道徳の授業では、学級やグループで話し合う活動を積極的に取り入れ、「考え、議論する道徳」を実践する	1 73.9%	3 90%	3 87.9%	4 88%	努力指標は、中間報告の73.9%に対し、最終報告では90%と大きく評価を高めることができた。教師側の意識が高まったと共に、教科書の扱い方や授業の進め方がつかめてきたと言える。また、成果指標も中間報告の87.9%に対して、最終報告では、わずかではあるが88%と高めることができた。	・教科書、指導書を読み込み、授業展開の工夫を行う。 ・生徒の心を揺さぶるような教材や発問を考える。 ・市教研など、外部での研修での情報を共有する。 ・実践例を残していき、各学年で生かせるようにする。
		総合的な学習や行事など等において生徒が主体的に取り組み、達成感・充実感を味わうことができるようにする	運動会や合唱コンクール等の学校行事や委員会・係活動において、リーダーを中心に積極的に取り組めるよう指導する	4 96%	4 91.7%	2 78%	2 76.2%	努力指標、成果指標ともに残念ながら下がってしまった。行事では、リーダーとなる一部の生徒の評価は高いが、フォロワーの一部からはあまり高くない評価を得ているのも事実である。リーダーもフォロワーも同じように充実感・満足感を得られる指導を引き続き行っていく必要がある。	・引き続き、生徒会役員、常任委員、実行委員など生徒中心に活動させる。 ・教員が助言等をする時は、なるべく前に出ないように配慮する。 ・様々な場面で「褒める」「認める」ことを教員が積極的に行う。(その際は、内容を具体的に示す。)
信頼される学校	特色ある教育活動を推進し、地域や小学校から信頼される学校を創造する	地域と連携した教育活動を推進し、地域を愛し地域に貢献しようとする態度を育てる	国分寺調査や職場体験、地域の安心・安全を考える会、などの教育活動をさらに充実させるとともに、学区域内の小学校との間接的・直接的な交流を行う	/	4 10回以上	/	4 80.7%	国分寺調査、職場体験、地域の安心・安全を考える会の他に、地域のお祭りや行事への参加、小学校との募金活動や読み聞かせなど、多岐に渡り地域や学区域内小学校との連携を図ることができた。	・3年間の総合的な学習の時間のねらいを把握し、地域にも理解していただく。その上で、国分寺調査や職場体験を実施する。 ・部活や生徒会役員、委員会等と地域の行事がうまく関連できるように工夫する。 ・地域行事への参加が一部の生徒にかたよらないように全体に広がる指導を工夫する。
			地域行事や奉仕活動に進んで参加し、社会に貢献しようとする意欲や、他者を思いやる心などのボランティアマインドを醸成する	/	4	/	4 86.2%	地域のお祭りや、商店街でのイベントなど、多くの生徒や部活動がお手伝いや発表などで関わることができた。	・引き続き、どのようなボランティアがあるかを積極的に発信し、より多くの生徒が参加できるようにする。 ・教員側の負担が増えないように配慮する。

*ボランティアマインド…社会貢献への意欲、思いやる心、自尊感情の向上

収率 : 保護者 83% 生徒・教員100%